資料 2

新田町交差点周辺まちづくり　テーマとコンセプト（案）

■中心市街地エリア特性図

NO	事業名	御開帳	2023	御開帳	2028
①	城山公園再整備				
②	県庁緑町線沿線地区整備　まちなか広場整備				
③	中央通り歩行者優先道路化（Ⅱ期）				
④	南石堂A-1地区優良建築物等整備				
⑤	長野駅周辺第二土地区画整理				

≪テーマ≫　【まちパレット
～地域を結び、特色（いろ）を重ねて際立たせ、賑い再生～】

中心市街地に点在する特徴を分断することなく、相乗効果が期待できるよう、周辺を結びつけるまちづくりを行う。交通の結節点としてだけではなく、門前町としての歴史と現代の文化をミックスさせる結節点とする。

今ある資源を有効に活用し、持続可能な発展をめざす。その中で市民ニーズが高く、中心市街地に不足している都市機能を導入する。

将来のさらなる少子高齢化に対応したワンストップ型の複合施設を増やし、歩いて暮らせるまちなかを実現し、回遊性を高めることで中心市街地に賑いを再生する。

限られた土地を有効に利用するため、敷地個々の目線ではなく地域一体で役割を考え、都市の再開発を行う。

これらの上で市民だけでなく来街者からの目線も含めた、常に変わっていくニーズにフレキシブルに対応できるまちづくりを目指す。

≪コンセプト≫

＜市民対象＞
学び・子育ての場
日常生活の場
コンパクトシティ

- 子育て支援や学習の機会、場の確保
- 生鮮食料品、日用品の小売店の確保
- 少子高齢化に対応する医療・福祉施設の充実
- 歩行者優先の道路環境整備の実施
- 都市居住機能を導入した複合型住宅の建設

賑い創出の場

- 市民交流の場の提供
- 定期的なイベントの開催
- 市のメインとなるシンボリックな都市空間の構築
- 周辺と連動した都市機能の再配置
- 自然に人が集まる都市緑地の整備
- 最新の情報発信の場の整備

＜来街者対象＞
情報提供の場
表参道憩いの場
有効な交通網

- 地域資源に根ざしたインバウンドの獲得
- 善光寺表参道にふさわしい都市景観づくり
- 心地よい歩行者空間の整備
- 交通の結節点として、利用しやすい公共交通の整備
- 近隣周辺施設と調和した、まちの価値を高める建物の建設